

第一景 絢爛

「けんらん」 華に心賑わすふるさと

その古桜はいつも 私たちを見つめていました。

四月、高山村にうつろい里山の春景色が巡ってきます。さまざまな草花の彩りと樹々の芽吹きに満たされる季節。ここに全国から愛好家を集めているのが、村内の各所に競って咲くしだれ桜の美しさです。

里の緑を背景に優美な華の滝を舞い降らせる景観は特筆のもの。映画「北の零年」の冒頭シーンも飾った水中のしだれ桜をはじめ、村内約二十本の名木があでやかに競います。古いものは樹齢六百年にも及び、高山の人々と暮らしを見守り続けてきた桜たち。写真でご紹介している水中、坪井、黒部、赤和観音、中塩の桜は「高山五大桜」とも呼ばれています。里のしだれ桜の見頃は四月下旬。さらに山田温泉の延命桜、松川溪谷のオオヤマザクラと時期を追って桜の宴は五月上旬まで続きます。



たかひ
高井のや
ただ
只一本の
花の雲
小林一茶

坪井のしだれ桜

三郷区の坪井地籍にあり、日本彼岸桜見立番付で「西の小結」に選定された名木です。しだれ桜としては樹齢・太さともに村内第一。樹齢は600年以上と思われ、老樹の気品漂う桜です。村指定天然記念物。

水中のしだれ桜

水中地区の鹿島神社境内に優美な姿をみせています。寛保年間、鹿島神社を祀った際に植えられたとされており、樹齢約260年を超えています。幹周約4m、樹高約22m。村指定天然記念物。



赤和観音のしだれ桜

赤和地区の奥、観音堂の登り口にたたくむしだれ桜。400年の歴史を持つ赤和観音堂を借景に、枝をいっぱい広げて咲き誇る姿が印象的です。樹高15m、樹齢約200年。



八滝のオオヤマザクラ

里の桜が花吹雪となって舞い散る頃、ようやく松川溪谷にオオヤマザクラの花ごよみがはじまります。見頃は5月上旬。溪谷のそこかしこを鮮やかに、濃色のオオヤマザクラが彩ります。



黒部のエドヒガン桜

黒部地区の南、高台に雄大な姿をみせています。花の朱みが濃いエドヒガンならではの彩りが目を奪います。樹齢約500年、幹周約7m、樹高約13m、樹下に「十二宮」が祀られています。村指定天然記念物。



中塩のしだれ桜

なかひら地区にある阿弥陀堂の傍、お地藏さまを護るようにそびえます。樹高約10m、樹齢は約150年。幾重にも張り出した枝々が花で埋め尽くされると、さながら湧き立つ華の雲のよう。

「しだれ桜の里を満喫する 信州高山桜まつり」。

毎年 四月の下旬には「信州高山桜まつり」が開催されています。恒例となっている「桜めぐりトレッキング」では、毎年テーマに即してそれぞれの桜を愛でてめぐるコースが設けられ、多くの方が参加しています。さらに、しだれ桜のライトアップや、高山村自慢の農産物の直売所なども設けられ、しだれ桜の里は、全国からおいでの人々で賑わいの時を迎えます。